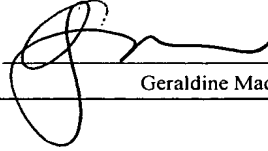


CERTIFICATE OF HAND DELIVERY

I hereby certify that this correspondence is being hand filed with the United States Patent and Trademark Office in Washington, D.C. on March 15, 2004.



Geraldine Maddox

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the application of:

Hiroshi YASUDA et al.

Serial No.: **NEW APPLICATION**

Filing Date: March 15, 2004

For: **SYSTEM FOR PROCESSING
HANDWRITTEN DOCUMENT AND
METHOD FOR PROCESSING
HANDWRITTEN DOCUMENT**

Examiner: not assigned

Group Art Unit: not assigned

CLAIM FOR PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119, Applicants hereby claim the benefit of the filing of Japanese Patent Application Nos. 2003-072627 filed March 17, 2003 and 2003-072628 filed March 17, 2003.

The certified priority documents are attached to perfect Applicants' claim for priority. It is respectfully requested that the receipt of the certified copy attached hereto be acknowledged.

In the event that the transmittal letter is separated from this document and the Patent Office determines that an extension and/or other relief is required, applicant petitions for any required relief including extensions of time and authorize the Commissioner to charge the cost of

such petitions and/or other fees due in connection with the filing of this document to **Deposit**
Account No. 03-1952 referencing 116692005400.

Dated: March 15, 2004

Respectfully submitted,

By: Alex Chartove
Alex Chartove
Registration No. 31,942

Morrison & Foerster ^{LLP}
1650 Tysons Boulevard
Suite 300
McLean, Virginia 22102
Telephone: 703-760-7700
Facsimile: 703-760-7777

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 3月17日
Date of Application:

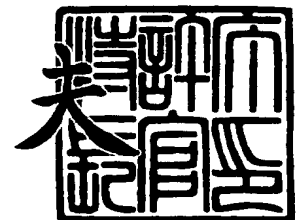
出願番号 特願2003-072627
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP 2003-072627]

出願人 株式会社リコー
Applicant(s):

2003年11月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康



出証番号 出証特2003-3091918

【書類名】 特許願

【整理番号】 0300458

【提出日】 平成15年 3月17日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
H04L 12/00

【発明の名称】 手書き文書処理システム、手書き文書処理方法

【請求項の数】 4

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

 【氏名】 安田 洋

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

 【氏名】 別府 智彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000006747

 【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

 【識別番号】 100070150

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 伊東 忠彦

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 002989

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 手書き文書処理システム、手書き文書処理方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 手書きされた文書から手書き情報を取得する受付端末と、前記受付端末から送信される前記手書き情報を受信する文書受信端末と、前記文書のフォーマットが格納されたフォーマット格納端末とを有する手書き文書処理システムであって、

前記受付端末は、

前記フォーマット格納端末から前記文書のフォーマットを取得するフォーマット取得手段と、

取得したフォーマットに基づき、前記文書を印刷する印刷手段と、

手書きされた文書から手書き情報を取得する手書き情報取得手段と、

前記手書き情報を前記文書受信端末に送信する手書き情報送信手段と

を有することを特徴とする手書き文書処理システム。

【請求項 2】 前記印刷手段は、前記文書とともに、前記手書き情報取得手段が前記文書を識別するための識別情報を印刷することを特徴とする請求項 1 に記載の手書き文書処理システム。

【請求項 3】 手書きされた文書から手書き情報を取得する受付端末と、前記受付端末から送信される前記手書き情報を受信する文書受信端末と、前記文書のフォーマットが格納されたフォーマット格納端末とを有するシステムでの手書き文書処理方法であって、

前記受付端末は、

前記フォーマット格納端末から前記文書のフォーマットを取得するフォーマット取得段階と、

取得したフォーマットに基づき、前記文書を印刷する印刷段階と、

手書きされた文書から手書き情報を取得する手書き情報取得段階と、

前記手書き情報を前記文書受信端末に送信する手書き情報送信段階と

を有することを特徴とする手書き文書処理方法。

【請求項 4】 前記印刷段階では、前記文書とともに、前記手書き情報取

得段階で前記文書を識別するための識別情報を印刷することを特徴とする請求項 3 に記載の手書き文書処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、手書きされた文書の処理を行う手書き文書処理システム、手書き文書処理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

パソコンやインターネットの普及により、各種申し込みが、紙を使わずにインターネットを介して行なえるようになってきている。そこで、例えば、自治体などにおいても、電子自治体の構築が推進されている。

【0003】

現状、役所が住民から受付ける各種申請業務は紙の申請書で処理行がわれている。そこで、電子自治体構築では申請業務も 24 時間 365 日「いつでも、どこでも」受付け可能とする住民サービスの向上をめざして取組み始め、パソコン又はキヨスク端末で住民が申請でき、電子申請情報として役所が申請受付けを出来る仕組みとなっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、住民全員がパソコンの操作が出来る訳ではないので、従来通りの手書きによる申請と電子申請の 2 種類の申請方法で行われる見通しとなっている。

【0005】

このように、従来の手書きの申請書を扱うことと、電子自治体が構築されることにより、役所の職員は受理した手書きの申請書の内容をキーボードから入力するなどして電子化する作業を行わなければならない。また、役所以外の端末では、職員やそれに代わる人が配置されていない場合、手書き申請書を扱うことができない。

【0006】

本発明は、このような問題点に鑑み、手書きされた文書の電子化を行う手書き文書処理システム、手書き文書処理方法を提供することを目的とする。

【0007】**【課題を解決するための手段】**

上記課題を解決するために、本発明は、手書きされた文書から手書き情報を取得する受付端末と、前記受付端末から送信される前記手書き情報を受信する文書受信端末と、前記文書のフォーマットが格納されたフォーマット格納端末とを有する手書き文書処理システムであって、前記受付端末は、前記フォーマット格納端末から前記文書のフォーマットを取得するフォーマット取得手段と、取得したフォーマットに基づき、前記文書を印刷する印刷手段と、手書きされた文書から手書き情報を取得する手書き情報取得手段と、前記手書き情報を前記文書受信端末に送信する手書き情報送信手段とを有することを特徴とする。

【0008】

また、上記課題を解決するために、本発明は、前記印刷手段は、前記文書とともに、前記手書き情報取得手段が前記文書を識別するための識別情報を印刷することを特徴とする。

【0009】

また、上記課題を解決するために、本発明は、前記検査先端末は、前記手書き情報を前記作成元端末に送信することを特徴とする。

【0010】

また、上記課題を解決するために、本発明は、手書きされた文書から手書き情報を取得する受付端末と、前記受付端末から送信される前記手書き情報を受信する文書受信端末と、前記文書のフォーマットが格納されたフォーマット格納端末とを有するシステムでの手書き文書処理方法であって、前記受付端末は、前記フォーマット格納端末から前記文書のフォーマットを取得するフォーマット取得段階と、取得したフォーマットに基づき、前記文書を印刷する印刷段階と、手書きされた文書から手書き情報を取得する手書き情報取得段階と、前記手書き情報を前記文書受信端末に送信する手書き情報送信段階とを有することを特徴とする。

【0011】

また、上記課題を解決するために、本発明は、前記印刷段階では、前記文書とともに、前記手書き情報取得段階で前記文書を識別するための識別情報を印刷することを特徴とする。

【0012】

以上のように、本発明によれば、手書きされた文書の電子化を行う手書き文書処理システム、手書き文書処理方法が得られる。

【0013】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態について図面に基づいて説明する。

【0014】

本発明の実施の形態における手書き文書処理システムの一例を図1に示す。この手書き文書処理システムは、図1に示されるように、自治体端末10と、受付パソコン11と、プリンタ14と、手書き入力装置12と、専用ペン13と、タッチパネル18と、ICカード装着部19と、課金部8と、フォーマット格納端末であるDBサーバ9と、ネットワーク15とを有する。このうち、受付パソコン11と、プリンタ14と、手書き入力装置12と、専用ペン13と、ICカード装着部19と、課金部8とが受付端末に対応する。なお、タッチパネル18は、必要に応じて装着しても良い。また、ネットワーク15は、インターネット、LAN、VPNなどを含む。

【0015】

次に、図1の詳細な説明をする。自治体端末10は、自治体の建物である役所などに設置されるパソコンである。この自治体端末10は、図1では、1つしか描かれていないが、複数の自治体にそれぞれ設けられるものであるし、通常は各自治体で複数台設置されるものである。

【0016】

受付パソコン11は、駅やコンビニエンスストアに設置されるパソコンであり、キヨスク端末のような専用の端末であっても良い。そして、受付パソコン11は、申請者が手書きした文書である申請書を読み取り、自治体端末10に手書き

情報を送信するパソコンである。なお、受付パソコン 11 は、もちろん役所にあっても良い。

【0017】

プリンタ 14 は、申請者が記入する申請書を印刷する。そして、印刷した申請書には、後述する識別情報とともに印刷される。

【0018】

手書き入力装置 12 は、申請者が手書きで入力した申請書から手書き情報を取得するものである。このとき、申請者は、専用ペン 13 で申請書に手書きする。なお、手書き情報を取得する装置は、図 1 に示されるような手書き入力装置 12 ではなく、スキャナであっても良い。スキャナの場合は、申請者の手書き申請書をスキャナに読み取らせることで手書き情報を入手する。

【0019】

IC カード装着部 18 は、申請者を認証するための IC カードを挿入するものである。課金部 8 は、申請者が住民票などを取得するために伴い発生するサービス料や申請書の印刷料などが投入される。

【0020】

DB サーバ 9 は、各自治体に対応した全国標準申請フォーマットが格納されているデータベースサーバである。この DB サーバ 9 は、例えば IDC (Internet Data Center) に設けられるサーバである。また、各申請書には、手書き入力装置 12 が何の申請書であるかを識別するために識別情報が設けられている。

【0021】

また、この IDC は、ASP (Application Service Provider) としての機能を有してもよく、自治体端末 10 と、受付パソコン 11 など動作するアプリケーションを提供するようにしても良い。

【0022】

なお、図 1 には記載していないが、サポートを 24 時間行うサポートセンタを設けても良い。これは、申請者が誤記入した場合の操作方法をサポートするためや、受付パソコン 11 がコンビニエンスストアなどに設置されるためである。

【0023】

次に、図1における自治体端末10、受付パソコン11、DBサーバ9などのコンピュータシステムにおけるハードウェア構成について、図2を用いて説明する。

【0024】

図2に示されるように、コンピュータシステムのハードウェア構成は、それぞれバスBで相互に接続されている入力装置22と、表示装置23と、ドライブ装置24と、記録媒体25と、補助記憶装置26と、メモリ装置27と、演算処理装置20と、インターフェース装置21とを含む。

【0025】

入力装置22は、申請者などが操作するキーボード及びマウスなどで構成され、コンピュータシステムに各種操作信号を入力するために用いられる。表示装置23は、コンピュータシステムを操作するのに必要な各種ウィンドウやデータ等を表示する。インターフェース装置21は、コンピュータシステムをネットワークに接続する為のインターフェースや他の機器を接続するためのインターフェースであり、例えばNIC (Network Interface Card) やモデム、USB (Universal Serial Bus) 等で構成される。

【0026】

そして、上記コンピュータシステムを動作させるためのプログラムは、CD-ROM等の記録媒体25によって提供されるか、ネットワークを通じてダウンロードされる。また、記録媒体25は、ドライブ装置24にセットされ、データやプログラムが記録媒体25からドライブ装置24を介して補助記憶装置26にインストールされる。

【0027】

補助記憶装置26は、データやプログラムを格納すると共に、必要なファイル等を格納する。メモリ装置27は、コンピュータシステムの起動時に補助記憶装置26からプログラムを読み出して格納する。演算処理装置20は、メモリ装置27に読み出され格納されたプログラムに従って処理を実行する。

【0028】

次に、手書き入力装置12を、図3を用いて説明する。手書き入力装置12は

、手書き情報取得部 52 と、マーク画像読取部 50 と、データ転送部 55 とを有する。

【0029】

手書き情報取得部 52 として、広く知られるタブレットと同様の装置を用いることが可能だが、加筆時には紙に実際に筆記可能であることが望ましく、そのときは、手書き情報取得部 52 として電磁誘導型タブレットや超音波式タブレットを用いる。この場合、専用ペン 13 も各タブレットに対応したものとなる。

【0030】

マーク画像読取部 50 は、申請書 51 に印刷された識別情報に対応するマーク画像 42 を読み取り、解析し、識別情報を取得する。データ転送部 55 は、例えば、シリアル接続装置、USB 接続装置、イーサネット（登録商標）接続装置であり、読み取った手書き情報 49 と識別情報を手書き情報編集部 38 へ転送する。

【0031】

この手書き入力装置 12 は、記憶装置などを備え、取得したデータを一旦記憶し、筆記した後に受付パソコン 11 に転送するようにしても良い。さらに、手書き入力装置 12 は、電池駆動することによって単独で動作させるようにしても良い。

【0032】

次に、図 4 を用いて受付パソコン 11 のソフトウェアブロックについて説明する。受付パソコン 11 は、OS 33 と、OS 33 上で動作する電子情報送受信部 34 と、自治体決定部 35 と、申請書出力部 36 と、手書き入力部 37 と、手書き情報編集部 38 と、タッチパネル処理部 40 と、認証部 64 と、課金処理部 65 とを有する。

【0033】

フォーマット取得手段と手書き情報送信手段に対応する電子情報送受信部 34 は、DB サーバ 9 から申請書のフォーマット 16 を受信し、自治体端末 10 へ編集済み手書き情報 17 を送信する。自治体決定部 35 は、申請者が選択した自治体からその自治体 ID を決定する。申請書出力部 36 は、DB サーバ 9 から受信

したフォーマットを申請書 51 として印刷・出力するプリンタ 14 のドライバである。この申請書出力部 36 とプリンタ 14 とが、印刷手段に対応する。

【0034】

タッチパネル処理部は、タッチパネル 18 のドライバである。認証部 8 は、IC カード装着部 19 に装着された IC カードから申請者の情報を読み取る。

【0035】

手書き入力部 37 は、手書き入力装置 12 のドライバであり、申請書 51 に対して、専用ペン 13 により行われた手書き情報を、手書き入力装置 12 から電子的に取得する。課金処理部 61 は、課金額を決定したり、実際にお金が投入される課金部 8 の制御を行う。

【0036】

手書き情報編集部 38 は、手書き入力部 37 から取得した手書き情報を編集する。これら手書き入力部 37 と、手書き入力装置 12 と、専用ペン 13 とが手書き情報取得手段に対応する。

【0037】

次に手書き情報編集部 38 の詳細を、図 5 を用いて説明する。手書き情報編集部 38 は、データ転送部 60 と、フォーマット読み出し部 61 と、手書き情報重畳部 62 とを有する。

【0038】

データ転送部 60 は、手書き入力装置 12 との間で、取得された手書き情報などをやり取りする。フォーマット読み出し部 61 は、DB サーバ 9 から電子情報送受信部で受信され、例えば補助記憶装置 26 に一旦保存されたフォーマットの中から、識別情報に従って特定された電子原稿を読み出す。手書き情報重畳部 62 は、フォーマット読み出し部 61 が読み出した申請書に対し、データ転送部 60 が取得した手書き情報を重畳し、編集済み手書き情報 17 を作成する。

【0039】

次に、プリンタ 14 から印刷される申請書を、図 6 を用いて説明する。図 6 は、申請書 51 の例として住民票の申請書を示す図である。申請書 51 を印刷する際には、住所氏名などの記入欄を表す画像データ 47 とともに、手書き入力装置

12 が読み取り可能なマーク画像 42 が重畳されて印刷される。このマーク画像 42 は、上述したように申請書を識別するための識別情報に対応する。

【0040】

また、申請書 51 においては、通常、トンボ 43、44、45、46 と呼ばれる位置合わせの記号が周囲に印刷されており、その内側が実際の申請書であるようになる。画像データ 47 を妨げないようにするために、マーク画像 42 は、トンボの外側に重畳され印刷されることが望ましい。

【0041】

このように、マーク画像をトンボの欄外に重畳することで、本来の申請書の内容を損なうことがない。

【0042】

また、申請書 51 に重畳するマーク画像 42 は、フォーマットを特定することが可能な識別情報であるので、印刷した申請書 51 のフォーマットを特定することが可能となる。

【0043】

なお、識別情報として、図 6 に示されるようなバーコードのみではなく、人間が判読可能な文字を用いることも可能である。

【0044】

また、識別情報がバーコードの場合も、1次元バーコードを用いることも可能であるし、2次元コードを用いることも可能であるが、判読しやすさやコードに記録できるデータ容量などの観点から2次元コードを用いることが望ましい。

【0045】

次に、DBサーバ 9 に搭載され、全国標準申請フォーマットが格納される自治体データベース（以下、DBと記す）を、図 7 を用いて説明する。なお、図 7 に示される自治体DBは、分かりやすくする為に、住民票のみに対応したものとなっている。

【0046】

図 7 に示される自治体DBは、自治体IDと、自治体名と、フォーマットファイル名の3つの項目で構成される。このうち、自治体IDは、全ての自治体に一

意的に振られる番号である。自治体名は、自治体IDに対応する自治体の名称である。フォーマットファイル名は、自治体ごとのフォーマットが格納されたファイル名である。

【0047】

例えば、自治体IDが1001001は、東京都千代田区を表し、そのフォーマットが格納されたファイル名は、tk-chiyodaとなっている。従って、DBサーバ9は、受付パソコン11から自治体IDを指定されると、自治体IDをキーに自治体DBを検索することで、フォーマットファイル名を取得し、そのフォーマットファイルに格納されたフォーマットを受付パソコン11に送信する。

【0048】

なお、図7に示される自治体DBの項目のうち、自治体IDと自治体名からなるデータは、受付パソコン11も有する。受付パソコン11は、申請者が選択した都道府県名及び市区町村をキーに、自治体IDを検索し、検索した自治体IDをDBサーバ9に送信する。

【0049】

次に、受付パソコン11が、自治体端末10に申請書を送信するまでの処理を、図8のシーケンス図を用いて説明する。図8のシーケンス図は、受付パソコン11に備わる各ソフトウェアブロックと、DBサーバ9と、自治体端末10との間の処理が記されている。

【0050】

まず、申請者はタッチパネル18で申請書フォーマットを選択し、自治体決定部35は、ステップS1で認証部64に認証処理の実行を通知する。次に、認証部64は申請者がICカード装着部19に挿入したICカードから、申請者の住所、氏名、性別、生年月日、年齢などを読み取る。読み取った自治体をステップS2で認証部64は、自治体決定部35に通知する。これにより、自治体決定部35は、自治体と申請書フォーマットの決定が可能となる。

【0051】

自治体決定部35は、ステップS3で、課金処理部65に課金を行うように通知する。課金処理部65は、印刷料金の課金の確認をすると、ステップS4で、

電子情報送受信部 34 に、自治体 ID と申請書フォーマットを送信するように通知する。電子情報送受信部 34 は、ステップ S5 で、自治体 ID と申請書フォーマットを DB サーバ 9 に送信する。

【0052】

DB サーバ 9 は、ステップ S6 で申請書フォーマットを送信する。そして、申請書フォーマットは、ステップ S7 で、電子情報送受信部 34 から文書出力部 36 へ送信される。文書出力部 36 は、印刷段階に対応する処理を行う。すなわち、文書出力部 36 は、プリンタ 14 で認証部 64 が読み取った申請者の情報を、申請書の該当箇所に印刷し、フォーマットに基づき申請書を印刷する。このとき、識別情報も印刷される。次に、プリンタ部 55 は、ステップ S8 で手書き入力部 37 に印刷したことを通知する。

【0053】

手書き入力部 37 は、手書き情報取得段階に対応する処理である、申請者が紙に出力された申請書に手書き入力をした手書き情報の取得処理をし、その手書き情報をステップ S9 で、手書き情報編集部 38 へ送信する。手書き情報編集部 38 は、手書き情報を編集する。

【0054】

手書き情報編集部 38 は、手書き情報を編集すると、ステップ S10 で、電子情報送受信部 34 に編集した手書き情報の送信を通知する。電子情報送受信部 34 は、手書き情報をステップ S11 で自治体端末に送信する。

【0055】

以上説明したように、本実施の形態における手書き文書処理システムにおいては、電子自治体が構築されたにもかかわらず、パソコンが不得意なために住民サービスの向上を受けられない人達にも、従来通りの紙の手書き申請書でも電子申請が出来るようになる。

【0056】

また、役所の職員は、紙申請と電子申請の 2 つの作業から解放される。さらに、例えばコンビニエンスストアなどの受付パソコン設置場所で、一人の申請作業操作に時間かかり、後の人が長時間待たされる事がなくなる。

【0057】

そして、上述した文書処理システムは、他の窓口業務である例えば銀行、旅行、携帯電話などの申し込みにも利用することができる。

【0058】**【発明の効果】**

以上説明したように、本発明によれば、手書きされた文書の電子化を行う手書き文書処理システム、手書き文書処理方法が得られる。

【図面の簡単な説明】**【図1】**

本実施の形態における文書処理システムを示す図である。

【図2】

コンピュータシステムのハードウェア構成図である。

【図3】

手書き入力装置を示す図である。

【図4】

受付パソコンのソフトウェアブロック図である。

【図5】

手書き情報編集部の詳細を示す図である。

【図6】

申請書を示す図である。

【図7】

自治体DBを示す図である。

【図8】

受付パソコンが自治体端末に申請書を送信するまでの処理を示すシーケンス図である。

【符号の説明】

8…課金部

9…DBサーバ

10…自治体端末

- 1 1…受付パソコン
- 1 2…手書き入力装置
- 1 3…専用ペン
- 1 4…プリンタ
- 1 5…ネットワーク
- 1 6…フォーマット
- 1 7…編集済み手書き情報
- 1 8…タッチパネル
- 1 9…I C カード装着部
- 2 0…演算処理装置
- 2 1…インターフェース装置
- 2 2…入力装置
- 2 3…表示装置
- 2 4…ドライブ装置
- 2 5…記録媒体
- 2 6…補助記憶装置
- 2 7…メモリ装置
- 3 4…電子情報送受信部
- 3 3…O S
- 3 5…自治体決定部
- 3 6…文書出力部
- 3 7…手書き入力部
- 3 8…手書き情報編集部
- 4 0…タッチパネル処理部
- 4 2…マーク画像
- 4 3、4 4、4 5、4 6…トンボ
- 4 7…画像データ
- 4 9…手書き情報
- 5 0…マーク画像読取部

5 1 …申請書

5 2 …手書き情報取得部

5 5、6 0 …データ転送部

6 1 …フォーマット読み出し部

6 2 …手書き情報重畳部

6 4 …認証部

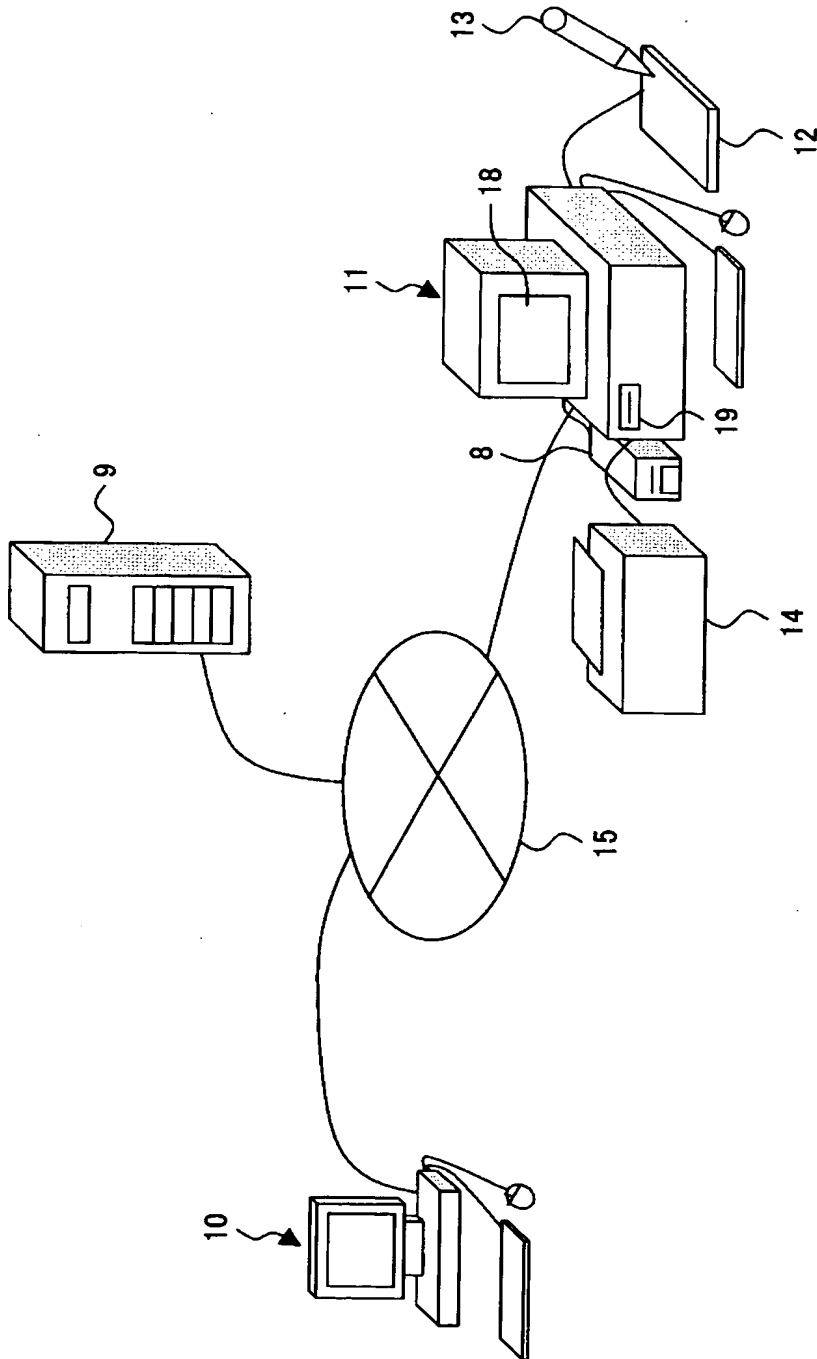
6 5 …課金処理部

【書類名】

図面

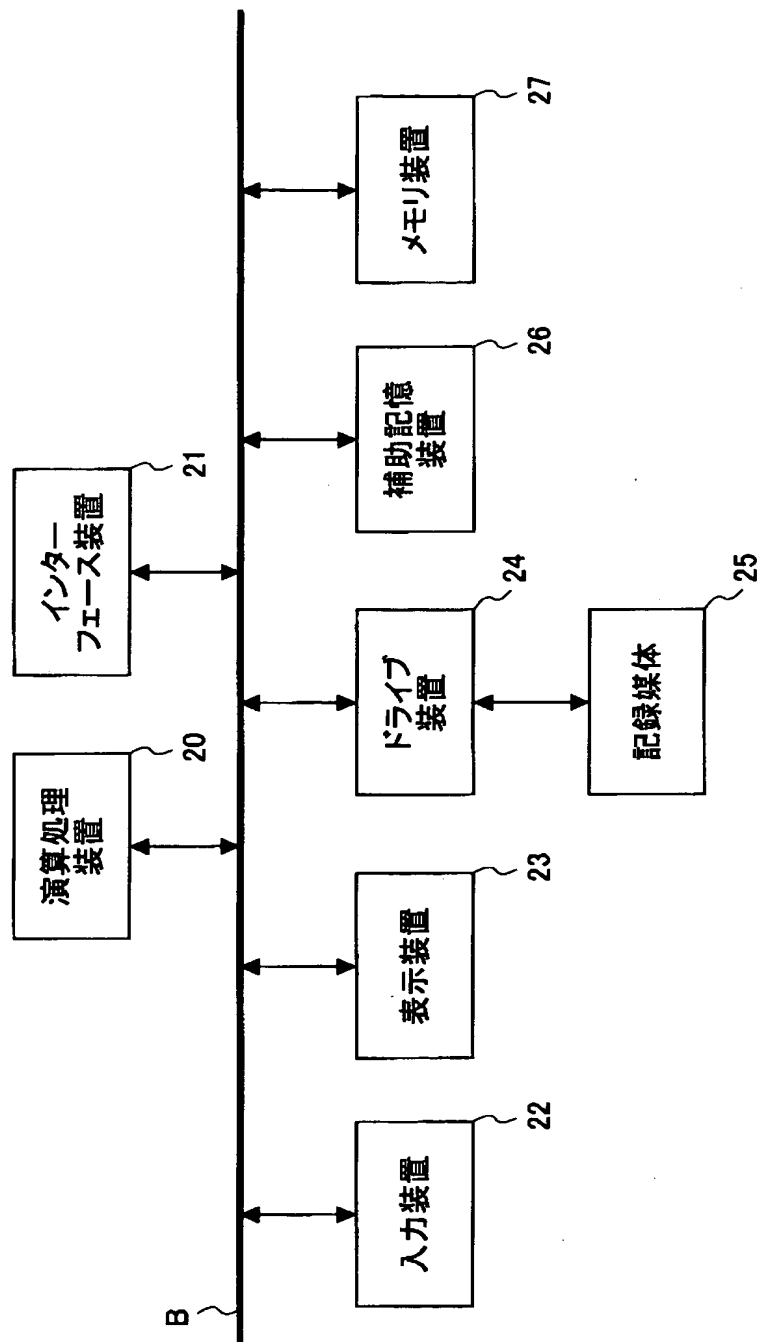
【図 1】

本実施の形態における文書処理システムを示す図



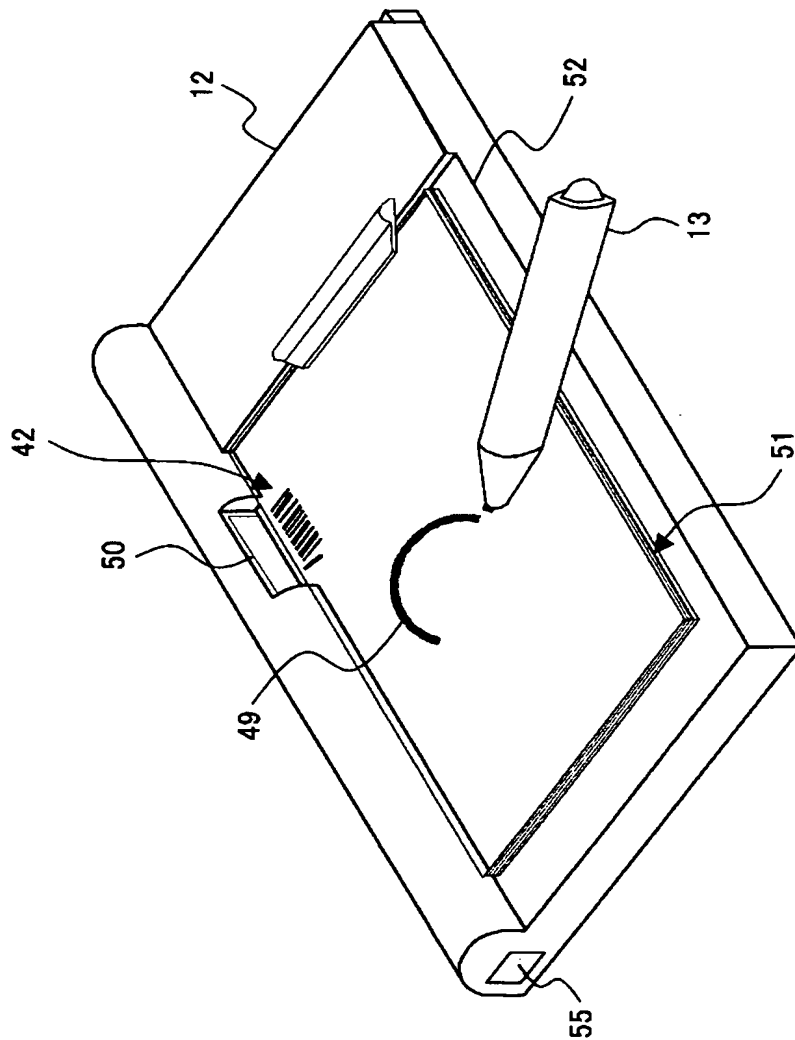
【図 2】

コンピュータシステムのハードウェア構成図



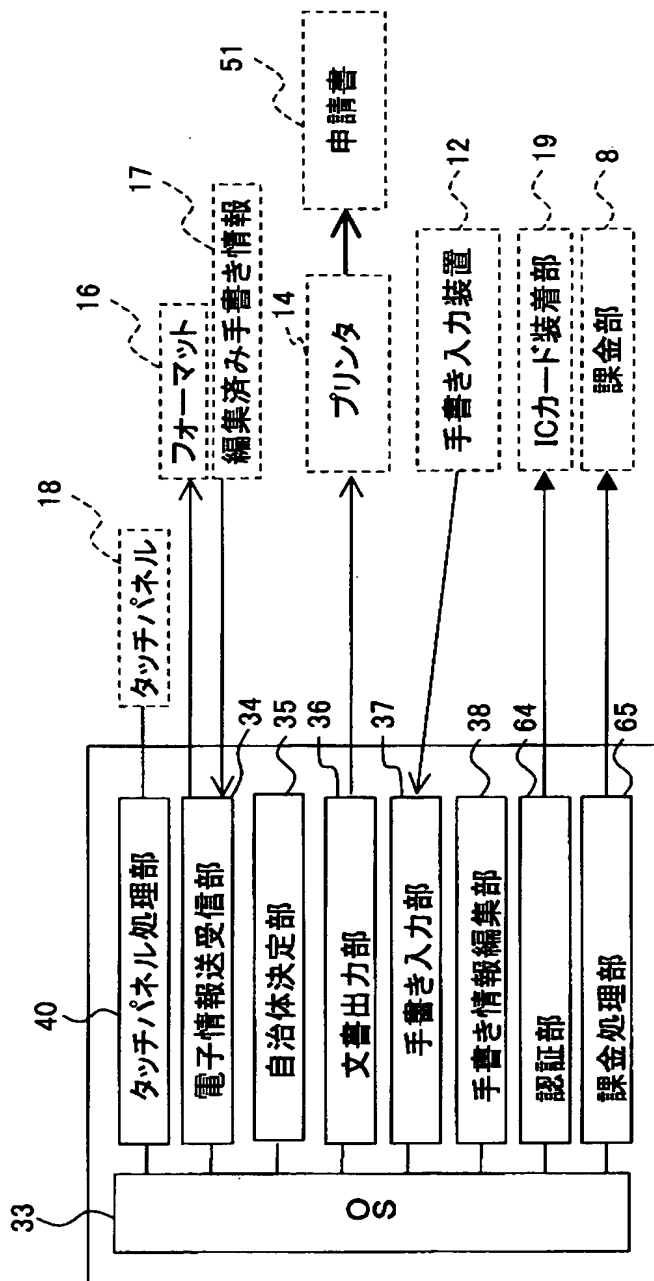
【図 3】

手書き入力装置を示す図



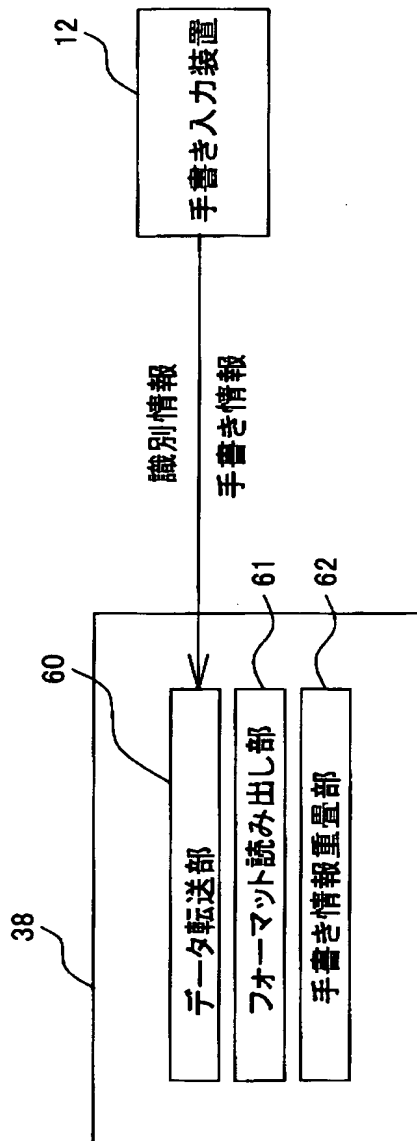
【図 4】

受付パソコンのソフトウェアブロック図



【図 5】

手書き情報編集部の詳細を示す図



【図 6】

申請書を示す図

The diagram illustrates a form for a Resident Registration Application (住民票申請書). The form is enclosed in a rectangular border with corner marks. It contains the following elements:

- 42**: A barcode located at the top left of the form.
- 43**: A label pointing to the top left corner of the form.
- 44**: A label pointing to the top right corner of the form.
- 45**: A label pointing to the bottom right corner of the form.
- 46**: A label pointing to the bottom left corner of the form.
- 47**: A label pointing to the central area of the form.
- 51**: A label pointing to the title "住民票申請書" (Resident Registration Application Form) located in the upper center.
- Fields**: The form contains several input fields:
 - 住所** (Address): A long horizontal field.
 - 氏名** (Name): A horizontal field.
 - 年齢** (Age): A horizontal field.
 - 本籍地の表示** (Display of Hometown): A small square field.
 - 続柄の表示** (Display of Relationship): A small square field.

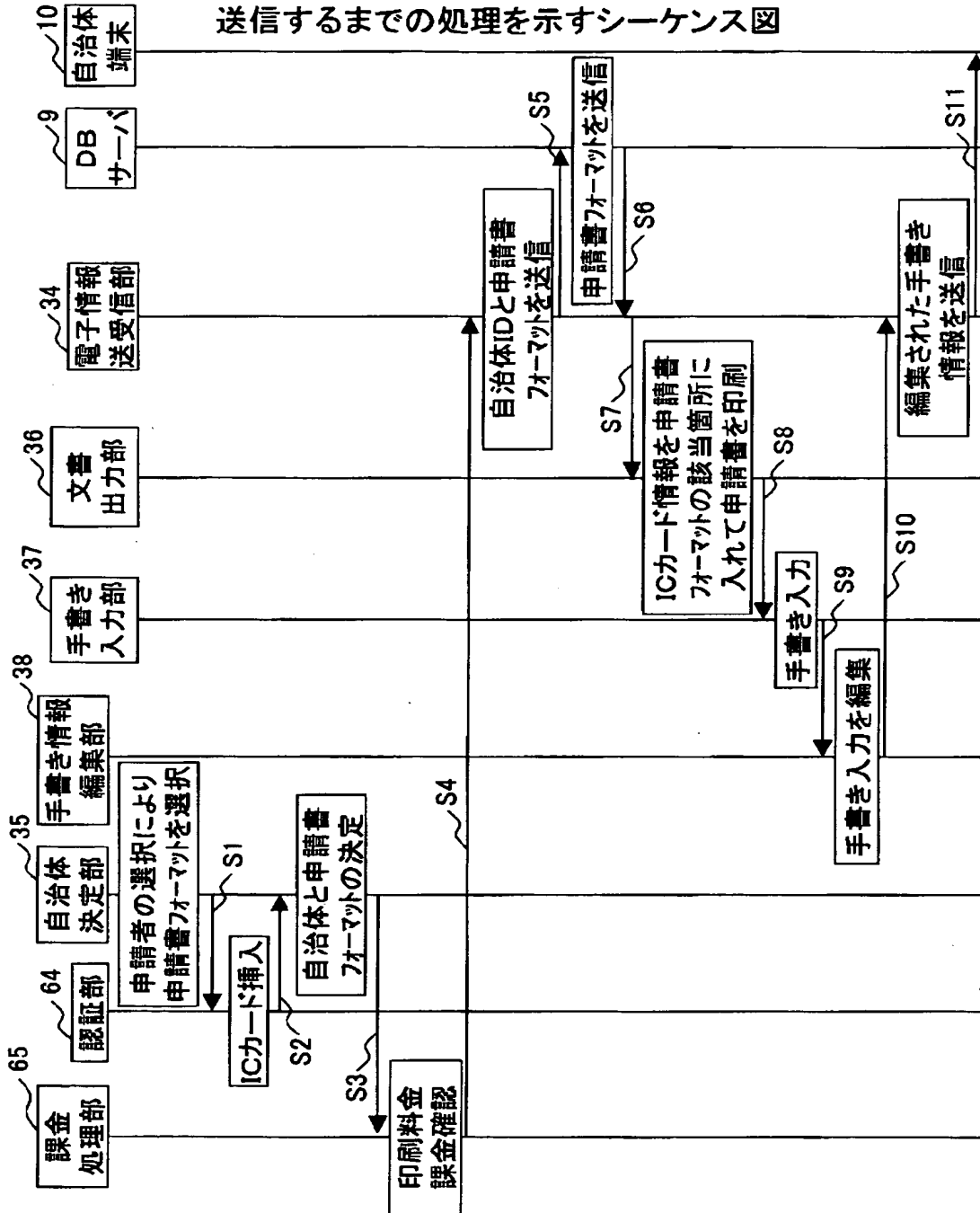
【図 7】

自治体DBを示す図

自治体ID	自治体名	フォーマットファイル名
1001001	東京都千代田区	tk-chiyoda
...
1002001	神奈川県横浜市	kn-yokohama
...
1003001	千葉県千葉市	cb-chiba
...
1004001	埼玉県さいたま市	si-saitama
...

【図 8】

受付パソコンが、自治体端末に申請書を送信するまでの処理を示すシーケンス図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 手書きされた文書の電子化を行う手書き文書処理システム、手書き文書処理方法を提供する。

【解決手段】 手書きされた文書から手書き情報を取得する受付端末と、前記受付端末から送信される前記手書き情報を受信する文書受信端末と、前記文書のフォーマットが格納されたフォーマット格納端末とを有する手書き文書処理システムであって、前記受付端末は、前記フォーマット格納端末から前記文書のフォーマットを取得するフォーマット取得手段と、取得したフォーマットに基づき、前記文書を印刷する印刷手段と、手書きされた文書から手書き情報を取得する手書き情報取得手段と、前記手書き情報を前記文書受信端末に送信する手書き情報送信手段とを有することを特徴とする。

【選択図】 図 6

特願 2 0 0 3 - 0 7 2 6 2 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 6 7 4 7]

1 . 変更年月日

2 0 0 2 年 5 月 1 7 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

氏 名

株式会社リコー